

2025年度

ナシ防除暦（有袋：二十世紀）

農薬残留リスク低減のため農薬散布に伴う飛散には十分に注意しましょう。

結果枝の残しすぎ、予備枝のとりすぎは病害虫の多発をまねきます。

基準防除				※ 商品名の後ろの()はRACコードです。			
時期	病害虫	薬剤及び濃度	RAC	収獲前使用時期	使用回数	備考	
休眠期	冬期管理 ○カイガラムシ類・ハダニ類には、スプレーオイル(-) 30倍を散布する。 ○前年カイガラムシ類多発園ではマシン油乳剤(-)にトクチオン水和剤(1B) 800倍(収獲75日前まで・2回以内)を混用散布すると効果が上がる。 但し、使用が2回以内のため年間防除の中で2回使用できない為、回数に注意すること。 ○病枝剪定、ボケ芽摘除、落葉処分。 ○剪定枝は必ず園外に持ち出す。 ○胴枯病には病斑を削り取り、その上にトップジンMペースト原液(1)(3回以内)またはバッチレート原液(M1)(3回以内)を塗布する。 ○粗皮削りを行う。						
	3月中旬 (発芽前)	黒星病 黒斑病	チオノックフロアブル 500倍	M3	収獲30日前まで	5回以内	
	4月上旬	黒斑病 黒星病 赤星病	アントラコール顆粒水和剤 500倍	M3	収獲45日前まで	4回以内	○赤星病の梨上での伝染が始まる。 ○ハマキムシ類、アブラムシ類が多い場合はダイアジノン水和剤34(1B) 1,000～1,500倍(収獲14日前まで・6回以内)を散布する。
	4月上旬 ～中旬	黒斑病	ロブラール水和剤 1,000～1,500倍 または ジマンダイセン水和剤 400～600倍	2 M3	収獲14日前まで 収獲30日前まで	5回以内 5回以内	
	4月中旬 ～4月下旬	黒斑病 黒星病 赤星病	オンリーワンフロアブル 2,000倍 または ネクスターフロアブル 1,500倍	3 7	収獲前日まで	3回以内	
	4月下旬 (落花直後)	黒斑病 黒星病	キノンドーフロアブル 1,000倍	M1	収獲3日前まで	9回以内	○ミツバチ放飼中は殺虫剤の散布はしない。 ○カメムシ類は、発生予察情報に注意し、適期防除に努める。 ○シンクイムシ類、ハマキムシ類の防除には、性フェロモン剤のコンフューザーN(-)(10a)当り150～200本)を地域ぐるみで使用する。コンフューザーN(-)は直接の殺虫効果はないので、薬剤散布を併用する。
アブラムシ類 シンクイムシ類		アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍	4A	収獲前日まで	3回以内		
ハマキムシ類		フェニックスフロアブル 4,000～6,000倍	28	収獲前日まで	2回以内		
5月上旬 (袋掛直前)	黒斑病 黒星病	オキシラン水和剤 500～600倍	M1+ M4	収獲3日前まで	9回以内	○この時期の散布は、必ず袋掛けの直前に実施する。 ○5日以上間隔があく場合は散布し直して袋掛をする。 ○前年、クロコナカイガラムシ多発園では、アプロード水和剤(16) 1,000倍(収獲30日前まで・2回以内)を散布する。	
	カイガラムシ類 シンクイムシ類・アブラムシ類	オリオン水和剤40 1,000倍	1A	収獲3日前まで	2回以内		
5月中旬	黒斑病・黒星病 うどんこ病・赤星病	アクサーフロアブル 2,000倍	3+7	収獲14日前まで	3回以内		
5月中旬 ～5月下旬	ニセナシサビダニ	ダニトロンフロアブル 1,000～2,000倍	21A	収獲14日前まで	1回	○サンマイト水和剤(21A) 1,000～1,500倍(収獲21日前まで・1回)でも可。 ○ニセナシサビダニ多発園では、ハチハチフロアブル(21A,39) 2,000倍(収獲30日前まで・1回)を散布する。ハチハチフロアブル(21A,39)は、天敵への影響が大きいので注意する。	
5月下旬	黒斑病 アブラムシ類	ロブラール水和剤 1,000～1,500倍 コルト顆粒水和剤 4,000倍	2 9B	収獲14日前まで 収獲前日まで	5回以内 3回以内		
6月上旬	黒斑病	アントラコール顆粒水和剤 500倍	M3	収獲45日前まで	4回以内		
6月中旬	黒斑病・黒星病 輪紋病・赤星病	ジマンダイセン水和剤 400～600倍	M3	収獲30日前まで	5回以内	○ベルケートフロアブル(M7) 1,500倍(収獲14日前まで・5回以内)でも可。 ○ニセナシサビダニ発生園ではコテツフロアブル(13) 2,000～3,000倍(収獲前日まで・3回以内)で防除する。	
	シンクイムシ類 アブラムシ類 カイガラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤 2,000～4,000倍	4A	収獲前日まで	3回以内		
6月下旬	黒斑病・黒星病 輪紋病・うどんこ病	ナリアWDG 2,000倍	11+ 7	収獲前日まで	3回以内	○病害発生が多い園では、オキシラン水和剤(M1+M4) 500～600倍(収獲3日前まで・9回以内)を降雨状況に応じて追加散布する。	
	ハダニ類	マイトコーネフロアブル 1,000～1,500倍	20D	収獲前日まで	1回		
7月上旬	黒斑病・黒星病	スコア顆粒水和剤 2,000倍	3	収獲14日前まで	3回以内		
	シンクイムシ類 クワコナカイガラムシ	スミチオン水和剤40 800倍～1,200倍	1B	収獲14日前まで	6回以内		
7月中旬 (梅雨明け直後)	黒星病 灰色病 うどんこ病	ベルケート水和剤 1,000～1,500倍	M7	収獲14日前まで	5回以内	○薬剤散布の前に不要な徒長枝を除去する。 ○ナシヒメシンクイの防除には、ナシヒメコン(-)(10aあたり50本)wp設置する。 ナシヒメコン(-)は直接の殺虫効果はないので、薬剤散布を併用する。	
	ハダニ類	ダニコングフロアブル 2,000倍	25B	収獲前日まで	1回		
7月下旬	黒斑病・輪紋病	アリエッティ水和剤 800倍	P7	収獲14日前まで	3回以内	○殺虫剤はアルバリン顆粒水和剤(4A) 2,000倍(収獲前日まで・3回以内)とサムコルフロアブル10(28) 5,000倍(収獲前日まで・3回以内)の混用でも可。	
	シンクイムシ類 クワコナカイガラムシ	バリアード顆粒水和剤 2,000～4,000倍	4A	収獲前日まで	3回以内		
8月上旬 ～中旬	黒斑病	ストロビードライフロアブル 2,000～3,000倍	11	収獲前日まで	3回以内	○病害対策として、オーシャイン水和剤(3)2,000倍(収獲前日まで・5回以内)を散布する。 ○サムコルフロアブル10(28)2,500～5,000倍(収獲前日まで・3回以内)でも可。	
	ハダニ類	カネマイトフロアブル 1,000～1,500倍	20B	収獲前日まで	1回		
9月上旬	シンクイムシ類	エクシレルSE 2,500～5,000倍	28	収獲前日まで	3回以内		
収獲後	黒斑病 黒星病	キノンドーフロアブル 1,000倍	M1	収獲3日前まで	9回以内	○天敵復活の時期として殺虫剤の使用をひかえ目にする。 ○アントラコール顆粒水和剤(M3) 500倍(収獲45日前まで・4回以内)でも可。	

〈カメムシ類防除薬剤〉 ※同一系統剤の連用は避ける。	ネオニコチノイド剤		合成ピレスロイド剤	
	アルバリン顆粒水溶剤 (4A)	2,000倍（収獲前日まで・3回以内）	アグロスリン水和剤 (3A)	1,000～2,000倍（収獲前日まで・3回以内）
	アドマイヤー顆粒水和剤 (4A)	5,000～10,000倍（収獲3日前まで・2回以内）	テルスターフロアブル (3A)	3,000倍（収獲前日まで・2回以内）
	ダントツ水溶剤 (4A)	2,000～4,000倍（収獲前日まで・3回以内）		

（注）表中の使用回数は、その薬剤の使用回数を記載しております。このほかにも、農薬には有効成分ごとに総使用回数が定められています。そのため、薬剤名が異なっても有効成分が同じものや、混合剤の使用に際しては、ラベルなどに記載されている有効成分ごとの総使用回数にもとづき使用して下さい。

主要ダニ剤一覧（抵抗性がつかないように、同一薬剤は1年に1回の使用にとどめましょう。）

農薬の種類	RAC	希釈倍数	収獲前使用時期	総使用回数	ハダニ類		ニセナシサビダニ	備考
					殺卵生	殺成虫性		
コロマイト水和剤	6	2,000倍	前日まで	1回	○	○	×	速効性、乳剤は6月以前には使用しない。高温・乾燥時の散布は避ける（薬害）。
ダニサラバフロアブル	25A	1,000～2,000倍	前日まで	2回以内	○	○	×	速効性、天敵への影響が少ない。スターマイトフロアブルと同系統。
スターマイトフロアブル	25A	2,000倍	前日まで	1回	○	○	×	速効性、天敵への影響が少ない。卵から成虫まで、全ステージに高い効果。
ダニトロンフロアブル	21A	1,000～2,000倍	14日前まで	1回	○	○	○	速効性、ピラニカ水和剤・サンマイト水和剤と同系統。
サンマイト水和剤	21A	1,000～1,500倍	21日前まで	1回	○	○	○	速効性、卵から成虫まで、全ステージに高い効果。
マイトコーネフロアブル	20D	1,000～1,500倍	前日まで	1回	△	○	×	やや遅行性、天敵への影響が小さい。6月以前には使用しない（薬害）。
ダニゲッターフロアブル	23	2,000倍	前日まで	1回	○	△	○	やや遅行性、天敵への影響が小さい。新梢伸長期には使用しない（薬害）。
カネマイトフロアブル	20B	1,000～1,500倍	前日まで	1回	○	○	○ (1,000倍)	速効性、天敵への影響が小さい。
ダニコングフロアブル	25B	2,000倍	前日まで	1回	△	○	×	やや遅行性、天敵への影響が小さい。

※この防除暦は2024年度時点での登録内容です。国の農薬登録制度が変わったため、登録内容が変更になる場合があります。
農薬使用時には最新の登録内容を必ずご確認ください。※



お問い合わせは
株式会社

ふ じ ま ん
藤 万

五條市野原西4丁目11－30
TEL：0747－23－2400
FAX：0747－22－2035
MAIL：inquiry@fujiman.co.jp
H P：https://fujiman.co.jp/



藤万公式サイト